

電子編機の手入れと掃除

編機に起こる模様くずれや目落ちのトラブルは、ほとんどがゴミやほこりが原因。日頃からこまめな手入れが大切です。



日頃の手入れ

•使わない時はカバーをかけておきます。

1. 模様カード



- 鉛筆の汚れは消しゴムで消します。カスはカードにつきやすいので、羽根ブラシなどを使って、きれいに取り除きます。
- 油性の汚れは、アルコールなどで軽くふき取ります。
- ※模様はマス目からはみ出さないように、濃くはっきり描きます。

2. プラスチック部分



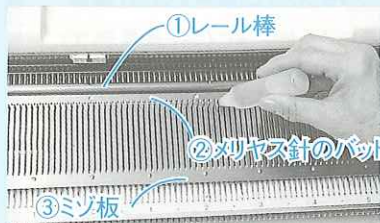
•布に中性洗剤の薄めた液をつけてふきます。

3. 金属部分

•乾いた布やブラシで汚れをふき取ります。

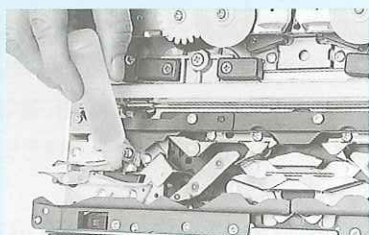


●汚れをふき取った後の手入れ



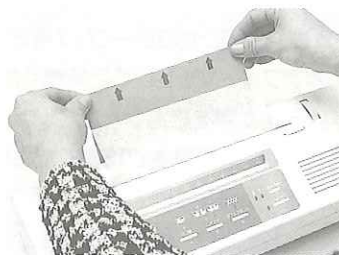
1. 矢印部分は油がきれやすいため、汚れをふき取ってから油を2~3滴つけ、キャリジを2~3回動かします。

2. 選針カムにときどき油をぬります。(汚れているときはふき取ってから行います。)



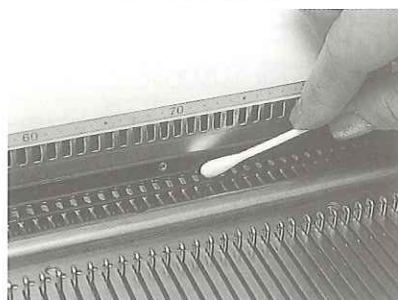
ゴミ・ほこり対策

1. 模様読取り装置内



•クリーニングカードを手前から差し込み口に入れ、後ろから引き出します。(2~3回くり返します。引き出します。)

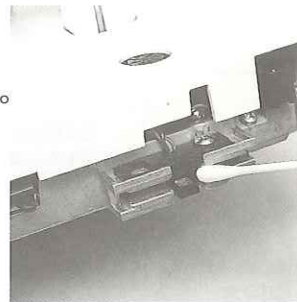
2. レールの角穴



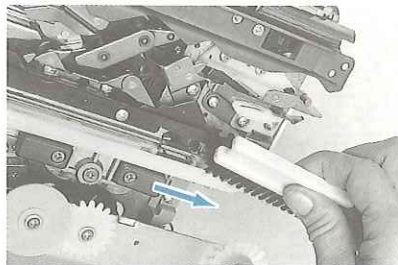
•レールの後ろの角穴にたまったほこりは綿棒で取ります。

3. キャリジのセンサー

•綿棒か、やわらかい乾いた布でセンサーの透明な部分をふきます。(キャリジ後ろの左右にあります。)



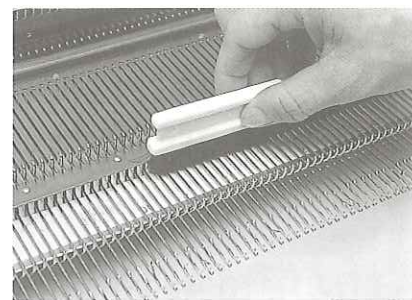
4. スライダー穴



•キャリジの手前の溝(プラスチックとの溝)をブラシで取り除きます。

5. メリヤス針と針数表示板

•ブラシや掃除機で取り除きます。



6. ミゾ板の中

•タッピで取り除きます。

